

小田原合戦と千葉氏の滅亡

1589年(天正17年)、後北条氏は上野国(群馬県)内の所領めぐって豊臣秀吉と争いになりました。翌1590年、秀吉は、16万の兵力をもって後北条氏のたてこもる小田原城を攻めました。北条氏直は、100日あまりろう城しましたが、ついに秀吉に降伏しました。この結果、後北条氏とそれに従っていた千葉氏など東関東の豪族たちも領地を取り上げられて滅亡しました。千葉氏の最後の当主であった千葉介重胤は、1633年(寛永10年)江戸で病死しました。



小田原城内堀跡 神奈川県小田原市



小田原城仕寄陣取図 山口市立図書館蔵